

第20回学会大会の印象

酒井 正博（宮崎大学）

本大会は平成30年5月26日（土）～6月27日（日）の2日間にわたり、宮崎で開催されました。大会会場は、「フェニックス・シーガイア・リゾート」です。マリンバイオテクノロジー学会の大会は、今年で20回を数え記念すべき大会となりました。本大会の参加者は合計で191名となり、シンポジウムも2件、ミニシンポジウム1件、基調講演1題、口頭発表45題、ポスター発表41題、企業展示4社、企業協賛等4社でした。さらに、株式会社リバネスから、ランチョンセミナーを企画して頂きました。

宮崎は、飛行機の便しがなく、どこに行くにも不便な場所ではありますが、それにもかかわらず多数の方々に参加して頂いたことに感謝申し上げます。あいにく、初日は雨が降りましたが、今回は、ひとつの建物の中で、学会発表から懇親会まで行う事ができましたので、雨の影響はまったくありませんでした。今回の学会では、白岩先生のご助力により、Springer社から、図書券2000ドル分を頂きました。従いまして、従来のポスター賞に加えて、学生の口頭発表も賞を設けることが出来ました。ありがとうございました。

今回の学会は、演題数が例年より少なかったものの、優れた発表が多かったように思われます。特に、将来のマリンバイオテクノロジーを切り開くような発表も見受けられました。さらに、オーストラリア・ニュージーランドのマリンバイオテクノロジー学会の会長をお招きし、MOUを結ぶことが出来ました。これは、日本のマリンバイオテクノロジー学会に極めて有益な事であります。しかし、今回の学会は、20回大会という記念すべき大会にもかかわらず、20回目に相応しいシンポジウムを企画出来なかった事が残念に思われます。これまでの学会活動を振り返るようなシンポジウムを企画しても良かったのではないかと悔やまれます。これについては、次回の学会に期待したいと思います。

懇親会では、高校生による書道パフォーマンスを企画しました。高校生が、大きな紙に、大きな筆を持ちながら字を書いていくというパフォーマンスに、驚いた方々も多いのではないのでしょうか。今回の企画は、非常に評判も良く、将来、宮崎での学会を振り返った時に、真っ先に思い出されるのではないかと思います。

このように、宮崎大会は、多くの方々のご協力によって無事、終えることができました。本大会に来られた皆様に心からお礼申し上げますとともに、実行委員会の皆様に感謝いたします。



学会発表



ポスター発表



書道パフォーマンス



実行委員会